

すべての皆さまに、快適な休憩施設を

SA・PA



SA・PA情報



駐車場の混雑対策 — 物流事業者への支援 —

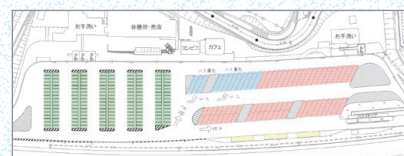
大型車の駐車マスの拡充

大型車の長時間駐車により、深夜帯を中心に大型車の駐車マスが不足し、混雑が発生していることから、大型車の駐車マスを拡充し、休憩施設の機能向上に取り組んでいます。

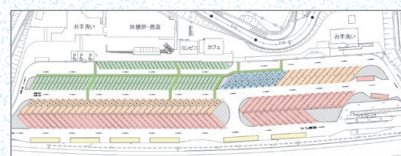
九州道 基山PA(下) 駐車マスのレイアウト変更

V字駐車マスへの変更により通路1本分を省スペース化などを行い、大型車マス増設のスペースを確保。

拡充前



拡充後



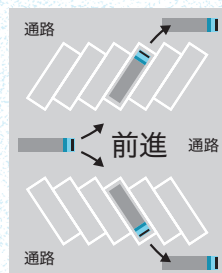
■ 大型車マス+14台、■ 小型・大型兼用マス+43台を実現しました。

大型車駐車マス拡充実績

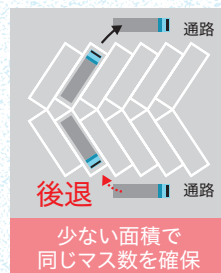
- 2024年度 158台
- 2020年度以降累積 1,100台以上

※兼用マス・ダブル連結トラックマスを含む

単列駐車マス



V字駐車マス



深刻なドライバー不足に対応する物流事業者への支援

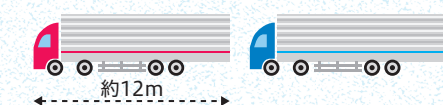
ダブル連結トラック駐車マスの整備

1台で通常的大型トラック2台分の輸送が可能な「ダブル連結トラック」は、2019年8月に運行区間が東北道から九州道まで拡大されて以降、特殊車両通行の許可台数が増加し、物流事業者のニーズ等を踏まえ、通行可能路線が順次拡大しています。当社ではダブル連結トラックの休憩機会確保のため、駐車マスの整備を進め、2024年度は16台を追加整備しました。



25mダブル連結トラックとは

- 通常的大型トラック(10tトラック)



- ダブル連結トラック(1台で2台分の輸送が可能)



ダブル連結トラック駐車マス(中国道 七塚原SA(下))

ダブル連結トラック駐車マス整備実績

- 2024年度 16台
- 累計 71カ所 97台



担当者の声 物流を支える企業の一員として

大型車の駐車マス不足への対策は、2018年度から継続して取り組んできました。近年、物流輸送量の増加や物流の2024年問題など、SA・PAに求められる機能が変化していることも踏まえ、当社では、海外の事例なども参考に様々な対策を進めています。日本の生活に欠かすことができない物流を支える企業の一員として、引き続き、関係機関と連携し、物流業界の皆さまの声を取り入れながら、利用しやすい休憩施設を目指してまいります。

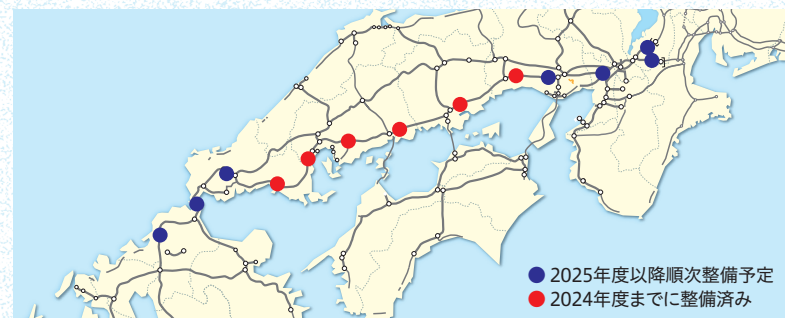
保全サービス事業本部 保全サービス事業部 交通課 井上 貴大



より確実な“休憩”機会を確保する実証実験

大型車の短時間限定駐車マス 西日本管内は17カ所へ拡大

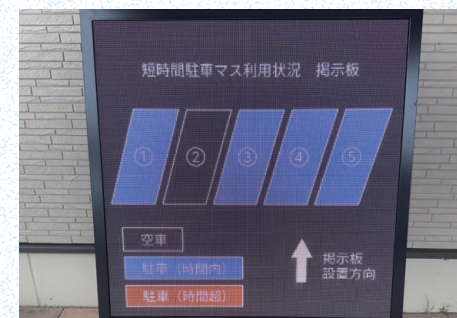
NEXCO東日本、NEXCO中日本と連携して実施している「大型車の短時間限定駐車マス」の実証実験により、短時間(60分以内)の利用台数の増加、駐車マスの回転率向上などの効果が確認できたため、整備箇所を拡大しています。また、実証実験では、深夜・朝方を中心に60分以上駐車する車両が約30%確認されました。適正な利用を促すため、ポスターなどの広報に加え、画像処理技術により駐車時間を判定し、休憩施設のモニターにて駐車時間を情報提供する取り組みを一部で開始します。



整備箇所の詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。



黄色の駐車マスが短時間限定駐車マス(九州道 古賀SA(下))



画像処理により判定した駐車時間を情報提供するモニター(九州道 古賀SA(下))

新たな駐車形態を試行

出発時間限定 大型車3列駐車マス

大型車駐車マス拡充の取り組みを進めていますが、休憩施設の敷地は限られており、単純な駐車マスの増設やレイアウト変更には限界があります。そのため、新たな駐車形態として、中国道 鹿野SA(下)において、2024年8月から2025年5月にかけて「出発時間指定 大型車3列駐車マス」を試行しました。試行結果は、山陽道 佐波川SA(下)にて予定している複数縦列式駐車場の整備に役立てていきます。

複数縦列式(コラム式)駐車場とは

ドイツのアウトバーンなどにおいて採用実績がある駐車方式。出発時間別に縦列駐車するレーンを設けることで、駐車マスを効率的に配備することを目的にした方式です。休憩施設を出発する時刻毎に縦列駐車させる駐車制御が必要であり、ドイツでは駐車チケットの発券や、駐車マスの頭上に出発時間を表示するなど、ドライバーに駐車方法を伝える制御をとっています。



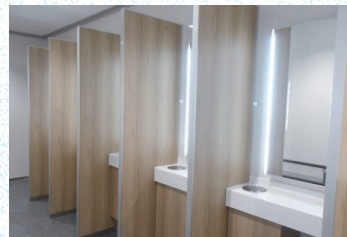
ドイツ(Jura-West)のコラム式駐車場(右の写真は、このマスの出発時間を示す表示)



出発指定時間を各マスに標示(中国道 鹿野SA(下))

トイレのリニューアル

お客さまに快適で安心してご利用いただけるトイレを目指して、自然光を取り込んだ明るい空間の演出や、バリアフリー化、女子トイレ内へのパウダーコーナーの整備などに取り組んでいます。



女子トイレのパウダーコーナー
（九州道 北熊本SA（上））



空きブースが目でわかるランプ
（九州道 北熊本SA（上））

NEXCO西日本は、
お手洗いの **4C + 1E** への改修を進めています

Clear（明るく）
少ない電力で明るく開放感ある空間

Clean（清潔で）
汚れにくく乾式清掃ができる床材

Ecology（環境負荷の軽減）
LED照明（約50%省エネ）や節水型便器（約75%節水）の採用

Comfortable（快適に）
バリアフリー対応・空調設備

Charming（魅力的に）
パウダーコーナーの整備

無人PAのサービス向上

無人PAでの自動販売機による食の提供によりお客さまサービスの向上につなげるとともに、高速道路を通じた地域課題の解決にも貢献する取り組みとして、農福連携「焼き芋自動販売機」の設置を拡大しています。

農福連携とは

農林水産省が推進している、障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みのことで、農福連携に取り組むことで、障がい者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながることがあります。

焼き芋自動販売機とは

宮崎県延岡市の（株）和光産業による、焼き芋自動販売機の設置を通じた障がい者の就労支援の取り組みです。焼き芋の製造・自動販売機への補充等の工程の一部を、就労機会として提供しています。

※焼き芋自動販売機の設置は、当社グループの地域共創活動（P.53）として取り組んでいます



焼き芋自動販売機の設置箇所

TOPICS

「地域のおむすび＝地むすび」を販売する実証実験

無人PAでのサービス向上に向けた事業可能性を検証するため、2024年4月、舞鶴若狭道上荒川PA（上）にて、兵庫県の食材を使用した「地域のおむすび＝地むすび」を販売する実証実験を実施。「高速道路で地域のごはんを食べ、ほっこり暖かな気持ちになってほしい」という想いから、「おむすび」と「NEXCO」を掛け合わせた「むすびすこ」と名付けました。引き続き、無人PAの利便性向上に努めていきます。



シャワーステーションの充実



シャワーステーション設置箇所

当社では、高速道路をご利用されるお客さまの疲労回復、くつろぎの提供として、11カ所のSA・PAにシャワーステーションを設置しています。

また、スマートキー（電子鍵）による予約システムの導入を拡大しており、順番待ちの時間をショッピングなどで有効にご利用いただけるよう、利便性の向上を進めています。



シャワーステーションには、男女別のコインシャワーとコインランドリーが併設されています。

多様なニーズに応える施設・サービスの整備

設置箇所数：2025年3月末時点



お子さま連れのお客さまへ

- ベビーコーナー 109カ所
- ベビーカーの無料貸出 71カ所



インバウンド対応

- JNTO認定外国人観光案内所 63カ所
- 多言語翻訳サービス 63カ所
- トイレの多言語案内 130カ所*

*：順次拡大中



バリアフリー化

- バリアフリートイレ 307カ所
- オストメイト対応トイレ 243カ所
- 車いすの無料貸出 94カ所



地域とつながるウェルカムゲート

- 一般道からSA・PAをご利用可能なウェルカムゲート 84カ所

店舗リニューアルによる魅力の進化

九州道 北熊本SA 上下線 リニューアルオープン



上り線 「熊本城」をモチーフに、食やお土産など熊本の魅力をぎゅっと濃縮

2024年 12月 オープン

外観の意匠には熊本城の石垣「武者返し」を、内観には熊本県PRマスコットキャラクター「くまモン」を随所に採用。フードホールでは、熊本名物の「たかな飯」定食や太平燕（タイピーエン）、あか牛のステーキなどをはじめ、愛らしいくまモンのパンや人形焼きなどを取り揃え、店内には「隠れくまモン」を探す楽しさも。熊本の魅力がぎゅっと詰まったサービスエリアに生まれ変わりました。



下り線 “瞬”間的に、“旬”の熊本をお楽しみいただける施設に

2025年 3月 オープン

ナチュラルな色合いと素材で「阿蘇の大自然」を表現した店舗は、熊本銘菓を多数取り揃えた売り場とコンビニエンスストアを併設。熊本ラーメンや「だご汁」など、フードコートでお楽しみいただける郷土料理のほか、阿蘇自然豚と天草産の塩を使用した「ソルティドッグ」など、テイクアウトも充実。旅の目的地へ急ぐお客さまのニーズにも応えるサービスエリアとなりました。



地域の次世代とつくるSA・PA

愛媛大学との産学連携プロジェクト
伊予灘の自然・景色を楽しめる「ピクニックエリア」を新設

松山道 伊予灘SAでは、「地域に愛される伊予灘SA」を目指し、愛媛大学社会共創学部と産学連携を行っています。2025年3月には、学生による現地調査や当社との意見交換により、芝生の上で伊予灘の自然・景色を楽しめる「ピクニックエリア」を下り線に新設。オープン日には、伊予市で活動する「いよ本プロジェクト」と連携した記念イベントを学生と協働で開催しました。地域の魅力を感じられる場所になるように、そして、伊予灘SA自身が地域の魅力になるように、地域を担う次世代との魅力開発を続けていきます。



ピクニックエリアには、恋人の聖地にちなんだハート型ベンチを設置。目の前には、伊予灘の絶景が広がっています。



学生による絵本の読み聞かせ

本を紹介するビブリアバトル



伊予市とのAR体験周遊企画も連携

伊予灘に沈む夕日とシンボルツリー

大学からの声 学生がライフキャリアを考える貴重な機会になっています

愛媛大学 社会共創学部では、2018年度からNEXCO西日本と連携し、伊予灘SAの活性化に取り組んでいます。ピクニックエリアのオープン時には、地域の方々と協力し、「本」をテーマにしたイベントを企画しました。こうした新しい価値を創造する活動に学生が参加することで、単なるインターンシップにとどまらず、自身の将来のライフキャリアを考える貴重な機会となっています。今後も伊予灘SAで多くの方が楽しい時間を過ごすことを目指し、活動に携わっていきたく考えています。

愛媛大学 社会共創学部
学部長 松村 暢彦



地域の学校と連携したオリジナル商品の開発

当社グループでは、地域の学校・企業と連携し、SA・PAで販売する商品の開発を通じた教育機会の提供を行っています。商品開発により次世代の育成に貢献するとともに、次世代が発掘した“地域の魅力”をSA・PAから発信することを通して、地域の魅力発信拠点としてのSA・PAの成長を目指しています。



「元祖 シトライス」
愛媛県立伊予農業高等学校
愛媛の学校給食メニュー「みかんご飯」をタコライス風にアレンジ。中央のスライスみかんは生徒が育てたみかんを使用し、みかんの爽やかさと、本格派でスパイシーなタコスミートがベストマッチ。松山道 石鎚山SA(上)・伊予灘SA(上)(下)にて販売。

「どらきび」
岡山県立岡山東商業高等学校
「岡山県の新名物」を目指し、同校と(株)廣榮堂、当社が連携し開発。備中白小豆を使用した白あんと、廣榮堂の「元祖きびだんご」・「白桃きびだんご」を挟んだ、新触感のどら焼きを、関西・中国エリアのSA・PAで販売。

「塩フィナンシェ」
兵庫県立明石北高等学校
減農薬・減化学肥料で栽培された「Aあかし」のブランド米「花美人」の米粉と、淡路島の藻塩を使った焼き菓子。「人にも環境にも優しい街として明石のことを知ってもらいたい」という生徒の想いが詰まった本商品は、第二神明道路 明石SA(上下)限定で販売中。

担当者の声 旅に刺激をプラスする「クリエイティブLab 北熊本」

北熊本SA上下線のリニューアルに併せて、熊本・九州で生まれた創造的なモノ・コトをお客さまにご紹介する「クリエイティブLab 北熊本」プロジェクトを開始しました。店舗やホールでの展示やワークショップなど、九州各地の魅力に触れられる新しい場を企画しています。お客さまの目的地やお土産、そして思い出が1つ追加になるなど、どんな化学反応を生み出せるかチャレンジしていきます。



九州支社 総務企画部 事業開発課
森 あずさ



店内の地域連携スペースにて、熊本ゆかりのアーティストの作品を展示

全国の人と地域をつなぐSA・PA

SA・PAを単なる休憩場所や通過点にしておくのではなく、SA・PAが目的地となる魅力的なキャンペーンやイベントを開催することで、高速道路網を活用した広域的な誘客を行い、全国の人と地域をつないでいます。

西日本をすみずみまで旅するきっかけに ネクスミッコキャンペーン

関西から九州まで当社管内全域を対象として、サンエックス(株)のキャラクター「すみっこぐらし」と当社がコラボしたキャンペーンを実施。西日本のすみずみまで足を運んでいただけるきっかけになるよう、管内26カ所のSA・PAをすみっこぐらし仕様に装飾し、スタンプラリー企画や地域限定のオリジナルグッズ、地域の魅力を活かしたコラボフードやお土産を販売しました。



キャンペーンキービジュアル



スタンプラリーキット



スーパーすみっこエリア



限定デザインの手のりぬいぐるみは、当社にちなんだもののほか、明太子やふぐ等、地域の特色を活かしたデザインに。



スーパーすみっこエリア

担当者の声 初めての大規模なキャンペーン

当社とすみっこぐらしのコラボではありましたが、地域への誘客や地域の魅力発信もできるよう、キャンペーン内容を検討しました。当社では、これほど大きな規模のコラボキャンペーンは初めての試みだったので、手探りでグループ会社やテナント会社と協力しながら作り上げました。すみっこぐらしのファンみなさまをはじめ、地域の皆さま、そしてグループ社員にとっても、楽しく・魅力あるキャンペーンになっていたら嬉しいです。

事業開発本部 事業開発部 事業開発課 門司 彩



地元の特産品 × キャラクターイベント ピクミンテラス in 宮島SA

山陽道 宮島SA(下)において、任天堂(株)のキャラクターである「ピクミン」をテーマにしたイベントを開催。もみじ饅頭やレモンなど、地域の特産品にちなんだ立体展示やコラボ商品、特設ショップなどを展開しています。



イベント特設サイト



ピクミンたちの立体展示



地元企業とのコラボ商品

香木堂
「かりんとうピクミンテラスセット
(レモン・ちりめん・きな粉)」

地域に根差した高速道路の付加価値

西日本管内24府県の魅力ある“すぐれもの”を発掘・お届け

西日本各地でこだわってつくられた魅力ある“すぐれもの”や、「美味しかったけれどまた買いに行くには遠い」といったSA・PA限定商品をお求めのお客さま向けに、オンラインショップを運営しています。商品に込められた地域の魅力やこだわりを皆さまにお届けすることで、西日本地域を応援します。



高速道路を通したビジネスマッチング

金融機関や自治体等と協力し、地域の企業とSA・PAの商業施設を運営するテナント事業者をマッチングする商談会を継続して実施しています。地元企業との連携を強化することで、新たな地域の逸品や、地域の食材を活かした食事メニューを開発するとともに、企業が生産している地域産品の販路拡大を目指しています。



パイヤーの声 地域の想いとお客さまの笑顔を橋渡し



商談会では特に意欲の高い事業者さまとの出会いがあります。商談では、そんな事業者さまと会話を紡ぐことで、安全・安心や商品開発に込められた想い、地域の新たな魅力などを引き出す心がけています。これからも、西日本を訪れるお客さまの笑顔と満足度の向上のために、西日本のSA・PAへの卸業を担う当社の流通網を活かして、地域とSA・PAの橋渡しをし、良質で多種多様な商品をお届けしていきます。

西日本高速道路ロジスティクス(株) 営業部 調査役(チーフパイヤー) 阿山 真也

運営担当者の声 大阪・関西万博を目前に、過去最大の商談会

地産地消・地域活性化の促進のため、財務省近畿財務局等と連携し、2025年2月に「第4回関西交通ネットワーク大商談会」を開催しました。売り手には地元企業約180社、買い手には西日本のSA・PAテナント以外にも鉄道・空港など関西の交通インフラの小売事業者を迎え、350を超える商談を実施。開催直前の大阪・関西万博のPRブースも設け、関西の魅力を発信するきっかけの場となるよう励みました。

西日本高速道路サービス・ホールディングス(株) 店舗営業部 商品開発課 西野 大空

